

小山町定例記者会見

2月

令和4年2月25日(金)
企画総務部 地域振興課



人の動き(令和4年2月1日現在)

人口 17,822 人(前月比 - 14 人)
世帯数 7,538 世帯(前月比 - 8 世帯)

★ 会見事項

- 1 小山町長の公務復帰について
- 2 新産業集積エリアの埋設物処理について
- 3 小山町フロンティア推進区域における公民連携ガイドラインの策定について

◇次回の定例記者会見は

3月29日(火) 15:30 から 役場本庁3階 301会議室で行う予定です



小山町定例記者会見
令和4年2月25日

資料 1

小山町長の公務復帰について

(小山町 企画政策課)

1 概要

先月から2月23日まで、入院・静養をしていた小山町長が公務に復帰しましたので、町長からコメントを発表します。



新産業集積エリアの埋設物処理について

(小山町 フロンティア推進課)

1 概要

新産業集積エリアにおいて、進出事業者の建築工事中に埋設物を確認しました。

埋設物処理は、令和元年10月29日に大和ハウス工業㈱と締結した土地売買契約書及び代物弁済契約書第23条（埋設廃棄物対応）に基づき、埋設物を適正に処分し優良な用地とするべく対策工事を行った上で、本町がこれに係る費用を負担することとなっております。この度、処分方法に係る方向性が概ね整ったことから、令和4年度一般会計当初予算にて対応する予定です。

2 内容

(1) 経緯

令和3年9月24日 建築工事の掘削中に埋設物を確認（施工業者から連絡）

令和3年9月25日 フロンティア推進課現地確認、組織内情報共有

令和3年11月上旬 建築工事の掘削工事完了

※確認した箇所以外で埋設物は確認されなかった。

令和3年11月以降 処分方法に係る協議調整

(2) 埋設物処理の概要

- ・処理量 約300立方メートル ※主にガレキ類
- ・処理費 15,000千円（概算） ※分析試験費、収集運搬・処分費
6款1項2目18節（負担金補助及び交付金）で支出を予定

(3) 処理の流れ

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により、当該建設工事に伴い生じる産業廃棄物であるため、施工業者が廃棄物を適正処分



小山町フロンティア推進区域における公民連携ガイドラインの策定について

(小山町 フロンティア推進課)

1 概要

本町では、静岡県「ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区（地域活性化総合特区）」の指定に係り、「内陸・高台部のイノベーションモデル事業」及び「多層的な地域連携軸の形成モデル事業」を推進していることから、「三来拠点事業」と銘打って、官民一体となった持続的な事業を実施しています。

また、第5次小山町総合計画の「育てたい、暮らしたい、帰りたいまち小山町」の創造のため、三来拠点事業の推進や雇用の創出と経済活動の活性化による活力ある地域づくりを目指しています。

このため、フロンティア推進区域における町独自の公民連携ガイドラインを示すことで、民間企業との連携により、推進区域の魅力創出に努めます。

2 構成（別冊資料）

- (1) 公民連携の基本的な考え方
- (2) 小山町における公民連携
- (3) 小山町フロンティア推進区域（三来拠点事業）の取組
- (4) 地域別事業概要

3 効果

フロンティア推進区域の8つの区域では、それぞれ目標を掲げ個々に推進しているが、事業者選定方法、事業主体、町の役割等は全体を通じて整理されず、事業推進にばらつきがあります。

公民連携ガイドラインを策定することにより、既に事業実施している区域やこれから事業実施する区域等に対し、町と民間事業者は相互の能力を最大限発揮できるようになり事業の推進が図られる。

4 今後の取組み

フロンティア推進区域のうち、今後、整備が必要な駿河小山駅周辺地区の「駅周辺の活性化に向けた賑わいづくり」及び「リバーガーデンタウンおやま」の宅地造成事業等、公民連携ガイドラインを示すことで、民間参入を促進し、事業進捗を図っていきます。

【問合せ】フロンティア推進課 企業誘致・雇用対策室 TEL 0550-76-6129